セキュアWebアプライアンスダッシュボードの回復とカスタマイズ

内容

概要

前提条件

- 要件
- 使用するコンポーネント

マイダッシュボード

- デフォルトビュー
- Webプロキシトラフィックの特性
- システムリソース使用率
- Webプロキシアクティビティの合計
- Webプロキシの概要
- L4トラフィックモニタの概要
- 疑わしい取引
- 疑わしいトランザクションの概要
- 上位URLカテゴリ：合計トランザクション
- 上位アプリケーション・タイプ：合計トランザクション
- 上位マルウェアカテゴリ：監視対象またはブロック
- 上位ユーザ：ブロックまたは警告されたトランザクション

時間範囲の変更

データセットの変更

ダッシュボードデザインの変更

ダッシュボードをデフォルトに戻す

関連コンテンツ

概要

このドキュメントでは、Secure Web Appliance(SWA)ダッシュボードをカスタマイズして復元する手順について説明します。

前提条件

要件

次の項目に関する知識が推奨されます。

- SWAのGraphic User Interface(GUI)へのアクセス
- SWAへの管理アクセス。

使用するコンポーネント

本書の内容は、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

マイダッシュボード

デフォルトでは、SWAのランディングページはMy-Dashboardです。このページは、ユーザがアプライアンスにログインするときに表示されます。ダッシュボードには、次の2つの主要なセクションがあります。

- システムの概要
- 時間範囲

これらの統計情報およびレポートの各種プロパティは、次のようにカスタマイズできます。

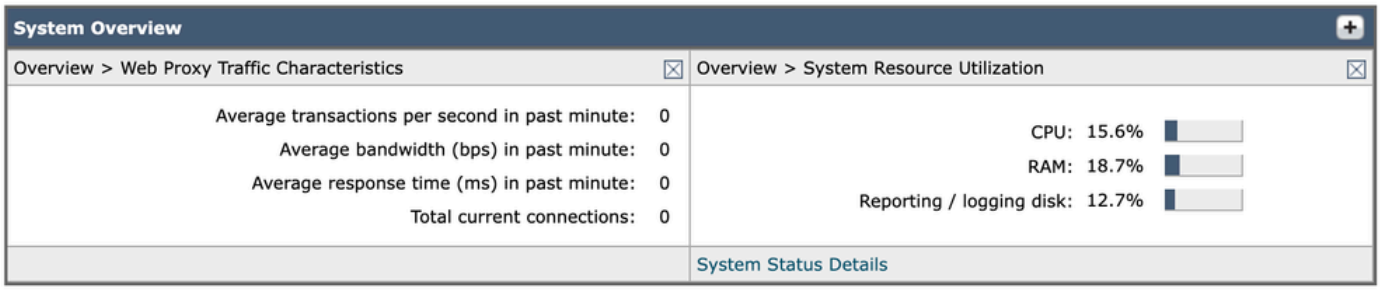
- データ型
- 時間範囲
- ページに表示する位置
- データセットの表示/非表示

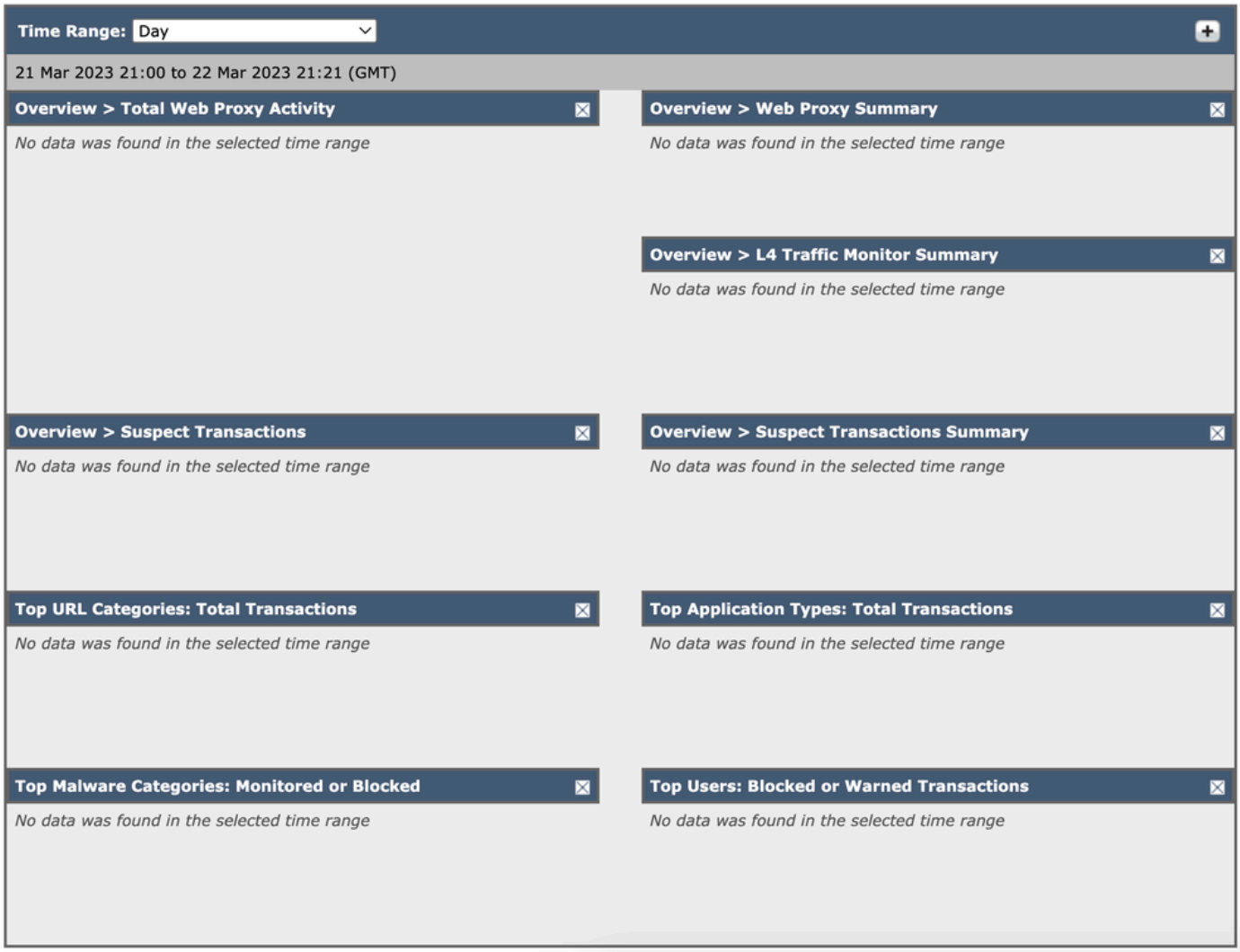
デフォルトビュー

デフォルトでは、My-Dashboardのレポートと統計情報は次のとおりです。

- システムの概要
    - 概要> Webプロキシトラフィックの特性

    - 概要>システムリソースの使用率
- 時間範囲
    - 概要> Webプロキシアクティビティの合計
    - 概要> Webプロキシの概要
    - 概要>レイヤ4(L4)トラフィックモニタの概要
    - 概要>疑わしいトランザクション
    - 概要>疑わしいトランザクションの概要
    - 上位URLカテゴリ：合計トランザクション
    - 上位アプリケーション・タイプ：合計トランザクション
    - 上位マルウェアカテゴリ：監視対象またはブロック
    - 上位ユーザ：ブロックまたは警告されたトランザクション





イメージ：SWAダッシュボード

Webプロキシトラフィックの特性

Webプロキシトラフィックの特性に、トランザクションに関する統計情報を示します。

過去1分間の1秒あたりの平均トランザクション数： XX
過去1分間の平均帯域幅(bps):XX
過去1分間の平均応答時間（ミリ秒）:XX
現在の接続数：XX

システムリソース使用率

システムリソース使用率には、中央処理装置(CPU)全体の現在の負荷、ランダムアクセスメモリ(RAM)、およびレポート/ログディスクの使用状況が表示されます。

System Status Detailsをクリックして、System Statusページに切り替えます。

(システムステータスを監視するには、Reporting > System Statusページを使用します。このページには、セキュアWebアプライアンスの現在のステータスと設定が表示されます)。

注：このページに表示されるCPU使用率の値と「システムステータス」ページに表示されるCPUの値は、異なる時点で個別に読み取られるため、若干異なる場合があります。

Webプロキシアクティビティの合計

セキュリティ管理アプライアンスによって現在管理されているセキュアWebアプライアンスによって報告されたWebプロキシアクティビティを表示できます。
このセクションには、実際のトランザクション数とアクティビティが発生したおおよその日付がグラフィック形式で表示されます。

疑わしいWebプロキシアクティビティの割合、またはトランザクションの合計数を含むクリーンプロキシアクティビティの割合を表示することもできます。

Webプロキシの概要

疑わしいWebプロキシアクティビティまたはクリーンなWebプロキシアクティビティの割合を表示できます。

L4トラフィックモニタの概要

セキュリティ管理アプライアンスによって現在管理されているセキュアWebアプライアンスによって報告されたL4トラフィックを、グラフィカル形式で表示できます。

疑わしい取引

管理者によってサスペクトのラベルが付けられたWebトランザクションをグラフィカル形式で表示できます。
このセクションには、実際のトランザクション数とアクティビティが発生したおおよその日付がグラフ形式で表示されます。

疑わしいトランザクションの概要

また、ブロックまたは警告が表示された疑わしいトランザクションの割合も表示できます。

検出およびブロックされたトランザクションのタイプと、このトランザクションがブロックされた実際の回数を確認できます。

上位URLカテゴリ：合計トランザクション

サイトにアクセスした上位のURLカテゴリをグラフィック形式で表示できます。

上位アプリケーション・タイプ：合計トランザクション

ブロックされた上位のアプリケーション・タイプを表示できます。これには、実際のアプリケーション・タイプの名前および特定のアプリケーションがブロックされた回数も含まれます。

上位マルウェアカテゴリ：監視対象またはブロック

検出されたすべてのマルウェアカテゴリをグラフィカル形式で表示できます。

上位ユーザ：ブロックまたは警告されたトランザクション

ブロックまたは警告トランザクションを生成した実際のユーザをグラフィカル形式で表示できます。ユーザは、IPアドレスまたはユーザ名で表示できます。

時間範囲の変更

時間範囲の日付を「日」から「時間」、「週」、「30日」、「昨日」に変更する手順は、次のとおりです。

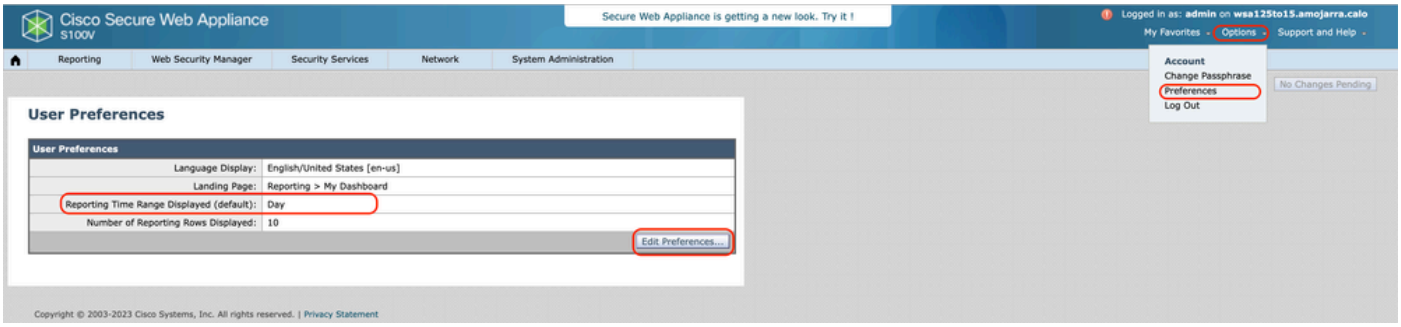
ステップ1:オプション（右上）を選択します。

ステップ2:Performanceを選択します。

ステップ3:Edit Preferencesをクリックします。

ステップ4：使用可能なオプションの1つに、「表示されるレポート時間範囲」(Reporting Time Range)（デフォルト）を変更します。

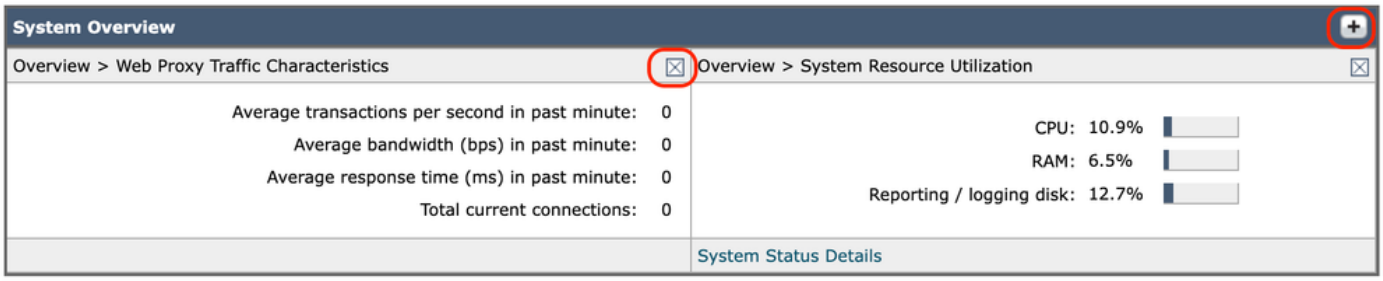
ステップ5:送信。 変更を確定する必要はありません。



イメージ：My-Dashboardでデフォルトの時間範囲を編集する手順

データセットの変更

My-Dashboardページでデータセットとレポートを追加および削除できます。 レポートを追加するにはプラス記号(+)を使用し、削除するには各レポートの右上にあるX記号を使用します。



イメージ：My-Dashboardのレポートの追加と削除。

注意：変更は、変更するとすぐに有効になります。送信する必要はありません。

ダッシュボードデザインの変更

My-Dashboardページで各データセットの順序を変更できます。各レポートの上部にある青いリボンをクリックし、レポートの場所を変更します。

ダッシュボードをデフォルトに戻す

My-Dashboardをデフォルト値に戻すには、次の手順でコンフィギュレーションファイルを手動で編集します。

ステップ1:GUIで、System Administrationsに移動します。

ステップ2:コンフィギュレーションファイルを選択します。

ステップ3：最新のコンフィギュレーションファイルをダウンロードします。

注：コンフィギュレーションファイルでパスワードの暗号化を選択します。

ステップ4:<user_reports>と</user_reports>の間にあるすべてのデータを削除して、XMLファイルを変更します。

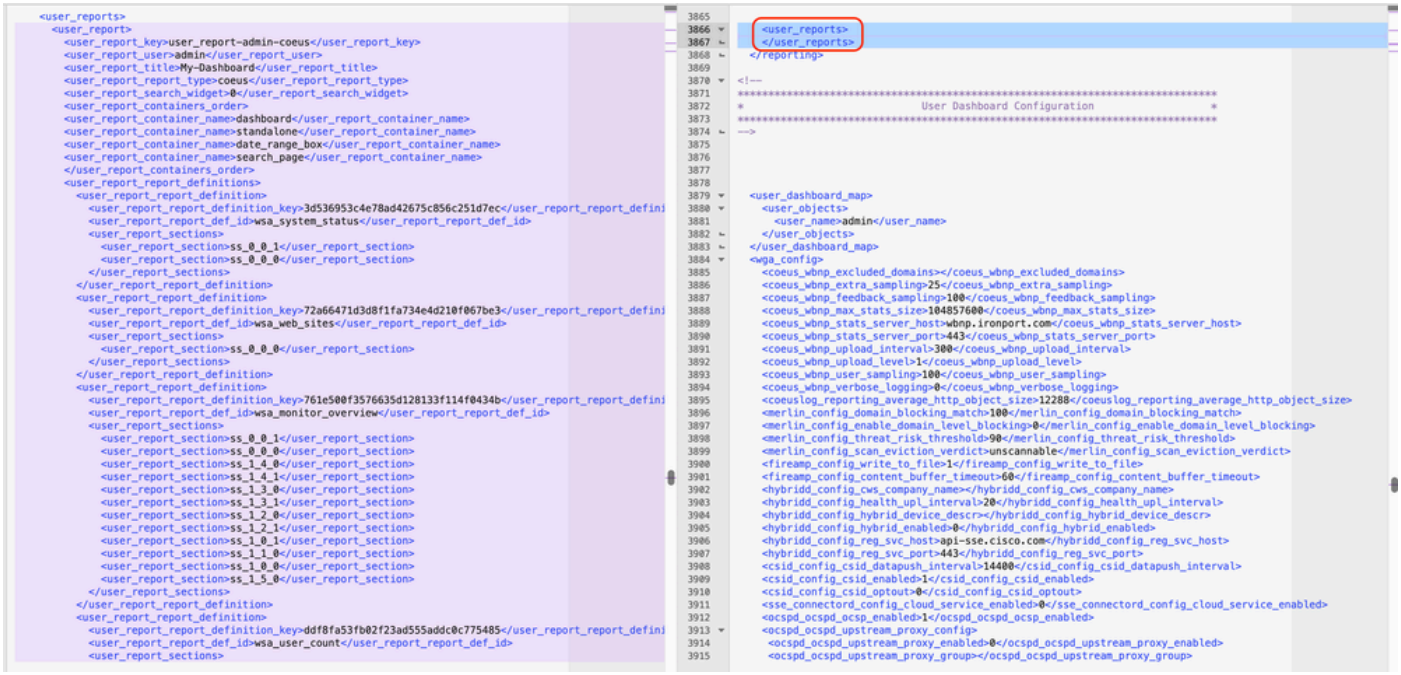


図 – カスタマイズされたダッシュボード（右）とデフォルト設定ファイル（左）を含むサンプルコンフィギュレーションファイル。

ステップ5:Configuration fileページのLoad Configurationセクションで、Load a configuration file from local computerを選択します。

ステップ6:変更したXMLファイルをアップロードします。

ステップ7:Loadをクリックして、変更を確定します。

関連コンテンツ

AsyncOS 14.5 for Cisco Secure Web Applianceユーザガイド – GD（一般導入）

サポート – Cisco Support and Downloads – ドキュメント、ツール、ケース – Cisco

翻訳について
シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。